

COLUMN: 先生紹介 ▶ 上場 波瑠 (カイチ予備校)



こんにちは。カイチ予備校に所属しています、上場波瑠です。中学時代は関目教室に通っていました。僕が開智で学んだことは、何事も真剣に行うということです。僕は開智に入る前は勉強に真面目に取り組んでいませんでした。しかし、開智に入ってから先生方が僕に真剣に向き合ってください、その熱意に

影響されて勉強や部活動など、様々なことに對して真剣に取り組むことができました。これは高校受験だけでなく、その後も文化祭、合唱コンクール、そして大学受験など、大いに役立ちました。これからも僕に役立つ大きな武器になると感じています。中学時代の思い出で特に印象に残っているのが、福井先生が言ってくださった言葉です。「不安と緊張は違う。緊張は、努力の量が大きく、それに見合った結果がほしいからするもの。不安は、努力が不足していて、恐れるときに感じるもの。だから緊張はいくらでもしていい。それは努力をしている証拠でもある。緊張を感じる自

分に自信を持ってください。」僕が4月に予備校で教え始めた頃、最初は不安と緊張の連続でしたが、いつしか不安はなくなり、今ではいい緊張感を持ちながら臨むことができます。これからも他の先生方の熱意に負けないよう、生徒達と精一杯向き合っていきたいと思います。最後に、開智は勉強をするのにとっても適している場所であると僕は思っています。授業料は他の塾に比べて安いですし、たくさんの生徒がおり、良い先生方がたくさんいらっしゃいます。この機会を無駄にせず、入試では不安ではなく、いい緊張感を持って臨めるように頑張ってください。



藤川のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE カトリーナ・藤川 (トーキングキッズ)

The Second Summer Camp in SHIAWASE NO MURA.

Talking Kids second Summer Camp "Blast" was held on August 9th and 10th in our favorite place SHIAWASE NO MURA. The Summer Camp was attended by (13) students and 4 energetic teachers.

This time not all campers were Talking Kids students. Only 5 Talking Kids participated in this year's camp, and the rest were from Kaichi Sogo Gakuin students from our school branches. They were interested to find out what is



トーキングキッズの第2回サマーキャンプ "Blast"が8月9日、10日に私達のお気に入りの場所である、しあわせの村で開催されました。サマーキャンプには13人の生徒と4人のエネルギーな先生達が参加しました。

今回の参加者は全員がトーキングキッズの生徒であったわけではありません。トーキングキッズ生は5人で、あとは開智総合学院の他コースの生徒達でした。生徒達はこのキャン

で何ができるのだろうかとわくわくしていました。英語をたくさん話すことだと思ふ子もいれば、英語のゲームをいっぱいするんじゃないかなと思ふ子もいました。子供達はサマーキャンプに参加すると何を成し遂げることができるのでしょうか。子供達はこのキャンプから何を学ぶことができるでしょうか。

このキャンプの目的を教えましょう。サマーキャンプに参加すると、英語の語彙力を得るだ

so special about this camp. Some kids think it's all about English. Another kid said its more about games. So, what makes this camp special? What will the kids achieve when they attend summer camp? What benefits do they gain from this camp?

Let me tell you the aims of this camp. When your child attends summer camp, it's not all about English vocabulary, we see to it that they learn how to work with others, Build Meaningful Relationships, accept guidance and develop decision-making skills. We teach them how to Gain Resiliency, to Grow More Independently and become more Confident. This is what we did this year.

To know more about Summer Camp

けではありません。他の人と何かを一緒にする方法を学んだり、有意義な関係を築いたり、アドバイスを聞いて自分で意志決定できるスキルが身に付きます。私達は子供達をより元気にさせ、子供達に活発になれる方法や自主的に行動する力、もっと自分に自信をもてる方法を教えます。別紙でサマーキャンプでの取組みをご紹介します。

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

September 2019
Vol. 85
毎月10日発行【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラトWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000
【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】 城東区今福西 1-10-17 TEL.06-6935-2220	【エニグマ】 中央区谷町 9-4-5-3F TEL.06-6777-1563
【万緑会】 天王寺区上本町 6-9-10-3F TEL.06-6772-5011	



高木 秀章(塾長)

保護者の方必見!!

受験生をサポートする5つのポイント

夏休みがあつという間に終わりました。私の今年の夏の思い出はやはり、2回目となるトーキングキッズ「サマーキャンプ」。詳しくはカトリーナ先生の記事と別紙に載せましたが、今回のキャンプでは多くの生徒が一人で参加していました。親を離れ、一人になり頼る人がいなくなると子供達は、人の話をしっかり聞き、自分で考え動きだします。成長にとって自立できる環境がいかに重要か。キャンプでの子供達の変化に感心すると共に考えさせられる事がたくさんありました。

さて、受験生は夏期講習が終わり、いよいよ受験校を決定するテストが続く秋を迎えます。

この時期に生徒達が受けるテストは定期テストが2回、大阪市統一テストが1回、実力テストが3回、模擬試験が3回の合計9回。生徒達にはどれも大切なテストであり、その結果によって気持ちもアップダウンする、受験においては最もナーバスになる季節です。

しかも、皆さんがご存じの通り子供達は、今まさに自立し子供から大人になると葛藤している成長期の真只中。様子も知りたい、進路の話もある、でも子供達はいつもイライラしていてコミュニケーションが上手く取れない状況かもしれません。

今回のGROWINGは、保護者の方がこの時期の子供達に対して、過干渉でも放任でもない適度な距離を保ちながらサポートするための5つのポイントを書かせていただきたいと思います。宜しければ参考にしてください。

ポイント1 継続的に声かけをする

「おはよう。」「最近どう?」日によって返事を億劫がるときもあるかもしれませんが、無視されることもあるかもしれません。しかし、必ず何らかのリアクションが返ってきます。保護者の方は生まれたときから誰よりも子供達をずっと見てきています。彼らのリアクションの僅かな違いで、「今日はしんどそうだな」「学校で何かあったのかな」と多くのことを感じ取ることが出来ます。そして、何よりも子供達は声をかけてもらうことで、自分の事を気にかけてくれているという愛情を感じ取ることが出来ます。

ポイント2 子供を一人の人として目線を合わせて接する

秋は12月の三者懇談に向かって、親子で進路について話す時間を持つ必要があります。この時に注意していただきたいことが、子供を一人の人として目線を合わせて話すことです。この時期の子供達は、自分の考えを持ち、頭ごなしに命令されると反発します。しかし、その反面、孤独を感じやすい面もあります。どんなに子供達が難しい時期であっても腫れ物扱いをせず、言うべきことは人生の先輩として言ってあげてください。そして、子供達の言い分にも誠実に耳を傾けてあげてください。

ポイント3 スマホはルールを決めて付き合う

今の子供達は勉強の合間にスマホのゲームやYouTube、LINEなどを使うことが多いようです。朝から学校に行き、夜は遅くまで塾に行っているのですから息抜きをするのは構いません。しかし、この時期にそれらに没頭しすぎるのは危険です。このような場合は、スマホを禁止するのではなく、時間を決める、部屋にスマホは持ち込まないなど「ルール」を決め付き合い方を覚えさせるようにしてください。

ポイント4 食事・睡眠をしっかり取らせる

秋の子供達は、クラブを引退し生活リズムが変わることで、体調を崩し風邪などを引きやすくなります。このことにはテスト勉強が続くことで生活が夜型になることも少なからず影響しているように思います。テストが過密になる10月・11月に体調を崩し、3日休むとスケジュールが大きくずれ、焦りに繋がってしまうケースもあります。しっかり食べてしっかり寝る。頑張りすぎて無理をしやすい時期でもありますので、体調管理は意識してあげてください。また、インフルエンザの予防接種は忘れず受けてください。

ポイント5 その他

受験生達との話の中で、親にしてもらって嬉しいことで良く出てくるのが「お風呂を先に入れてくれる」「好きなお菓子を買ってくれている」でした。子供達はこのようなことを通じて、気にかけてくれているという気持ちを喜んでいるのだと思います。

思春期中、受験という試練に立ち向かい自立に向かう我が子に親ができることは「見守り示唆を与えながら陰で支える」ことしかありません。中には、常にイライラし、親に反抗的な子供達もいるかも知れません。でも、受験が終わると子供達は一気に自分の世界を広げ、もうその世界を親と一緒に見ることはできなくなります。もしかしら高校受験は親子で取り組める最後の共同作業かも知れません。受験が終われば、イライラしているその姿が愛おしい思い出の1ページに変わります。

子供達の受験に寄り添えるのは今しかありません。ここから寒さが厳しくなると共に子供達の受験へのプレッシャーは強くなっていきます。その時、子供達に勇気を与え、力強く支えてくれるのは、保護者の温かな見守りです。そして、それこそが自立のパワーになります。

いよいよ、受験も佳境を迎えます。困ったこと、分からないことがあれば何でも仰ってください。来年の春を全員が笑顔で迎えられるように。私達スタッフも精一杯、生徒達と保護者の皆様をサポートしてまいります。

カイチからのお知らせ

- 小学部診断テストを9月25日(水)に実施します。
- 夏期講習最終日に受験した模擬試験結果の返却は9月下旬～10月上旬を予定しております。
- 文理学科対策講座・志望校レベル別受験対策講座(中3)の第1タームを9月7日(土)14日(土)、21日(土)の10:00～13:10、14:00～16:25で実施します。
- 英検直前校対策講座を9月7日(土)、14日(土)、21日(土)で実施します。時間は級によって異なりますので、お知らせをご参照ください。

Focus

CLASSROOM REPORT 教室レポート



諸口教室 みんなで夏期講習やり切りました!

高木 直也 (諸口教室)

今年度も無事に夏期講習会を終えることができました。毎年のことではありますが、夏期講習会は総力戦です。午前中は小学生。朝からの授業にもかかわらず、遅刻する生徒はほぼゼロ。30分前には教室にやってきて、今や遅しと授業のはじまりを待つ生徒もたくさんいました。



▲夏期講習、みんな頑張りました。

昼は中学3年。今年は「やり切り」の進捗が早い。開智の夏期講習会には「夏期講習中にやり切る課題」(通称やり切り)があります。各科目膨大な量を消化しなければなりません。

このやり切り、生徒の頑張り具合が目に見えてわかります。今年はさらに誰がどれだけやり切ったかを表にして見える化しました。加えて今年は週に一度プレテストを実施しました。授業とやり切りを頑張り、プレテストで効果を確認。それが3年生のやる気を駆り立てた一因ではないでしょうか。ただ何よりもこれまで以上に「絶対に成績をあげる」という生徒の強い気持ちが伝わりました。朝、夜も積極的に自習にやってくるのはやり切りや、その日の復習を頑張っていました。



▲今年は初の試み、「英語で理科実験」みんな興味津々!

夕方のトーキングキッズでは今年初の試み!「英語で理科実験」。理科を学びながら、英語を学ぶ。生徒達は最初「理科じゃないの!?!」といった感じでしたが、間にはさまれるスピーキング練習で英語の授業であることを都度認識していました。何よりシルバ先生と実験中に話す何気ない英会話が、生きた英語力を養っているようです。最後はみんなでアイスクリームを作りました。皆よりおいしいアイスを作るために全力で振っていました。結果教室が水浸しになることもありましたが、夏の良い思い出です。夜は中学1,2年。夏の暑い中、部活動を終えたら塾と、非常にハードなスケジュールを消化しました。宿題も忘れることなく、よく頑張ってくれていたと思います。



▲理科実験の最後はアイスクリーム作り。おいしくできて大満足!!

あっという間に夏期講習1か月は経ちました。どのクラスも充実した講習会だったと思います。3年生はこれから私立高校を選ぶ上で非常に大切な時期に入ります。今年の中学3年生の充実した表情を見ていると今年は今まで以上に頑張ってくれるのではないかなと非常に2学期が楽しみなってまいりました。2学期もイベント目白押しですが、一緒に頑張っていきましょう!

令和元年の夏やれんのか? 2019(社・英)

学年	科目	課題数	完了数	達成率(%)	
小学部	1年生	10	10	100.0	
	2年生	10	10	100.0	
	3年生	10	10	100.0	
	4年生	10	10	100.0	
	5年生	10	10	100.0	
	6年生	10	10	100.0	
	中学部	1年生	10	10	100.0
		2年生	10	10	100.0
		3年生	10	10	100.0
		4年生	10	10	100.0
5年生		10	10	100.0	
6年生		10	10	100.0	
高校部		1年生	10	10	100.0
		2年生	10	10	100.0
		3年生	10	10	100.0
		4年生	10	10	100.0
	5年生	10	10	100.0	
	6年生	10	10	100.0	

入試で志望校を勝ち取る生徒は誰だ?

▲夏期講習中にクリアする課題「やり切り」見える化してみんなで頑張りました。



Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



中3生必読!高校入学後の「その先」を見据えた受験勉強

熊谷 真宏 (カイチ予備校)

昨年の3月に開校したカイチ予備校ですが、あれからちょうど1年半が過ぎました。開校当初は30名だった生徒数も70名近くにまで増え、少しずつですが本格的な予備校としてステップアップしているところです。

さて今回は、これまで高校生と接してきた私の経験の中から、特に来年高校生になる現中学3年生に、この時期にぜひ伝えておきたいことがあります。きっと皆さんの役に立つはずですので、長文になりますがご一読いただければと思います。

さて、現在皆さんは受験勉強を頑張っている真っ只中だと思えますが、何のために受験勉強をしていますか?きっとほとんどの人がこう思ったのではないのでしょうか。「いやいや、そんな高校に行くために決まってるやん」と。わかりきっていることですが、受験勉強の先には「高校受験」というゴールがあり、皆さんもこの目標を目指して、しんどいながらも受験勉強を頑張っているわけですよね。当然、ゴールにたどり着いたらそこで受験勉強は終わります。1年間しんどい思いをして頑張ってきた勉強から、やっと解放されます。とりあえず皆さんが現時点でイメージできているのは、おそらくこのあたりまででしょうか。

前置きが長くなりましたが、要するに何が言いたいかというと、ほとんどの人は受験勉強が終わって高校に入学した後のことをイメージできていないということです。これは別に皆さんが悪いとかではなく、塾の先生達も皆さんを志望校に合格させるという目標を前面に押し出して指導にあたってはいるわけですから、むしろ当然のことと言えるかもしれません。実際、私自身も中学生を教えていた時は高校入学後のことなど考えていませんでしたし、「生徒が行きたい高校に無事に送り出してあげるのが自分の仕事」とも思っていました。

ところが、昨年からは予備校で高校生を指導する立場になり、今までの自分の考え方がガラリと変わりました。今の皆さんと同じように「ゴール」だと思っていた高校受験が、ただの通過点でしかないということを痛感したからです。例えば、「燃え尽き症候群」についてお話します。「高校受験」というゴールに着いたあと、大半の

人は受験勉強からやっと解放された反動で、「やる気スイッチ」がオフになります。このこと自体は別に当然といえば当然なのですが、問題なのは高校に入学してからこの状態がずっと続くパターンです。「あんなに受験勉強を頑張ったんだし、4月の1カ月くらいはのんびり高校生活を満喫しようかなあ」と思う人が出てきます。

ここで覚えておいてほしいのは、受験勉強は高校受験とともに終わりますが、勉強そのものは高校に入っても続いていくということです。当たり前だと思われかもしれませんが、これは高校受験後に皆さんがすっかり忘れてしまいがちな事実です。そしてもう一つ忘れてはいけないことがあります。それは、高校の学習内容は中学内容よりもずっと難しく、量も格段に多いということです。例えば高校英語なんかは、中学英語の10倍の量ともいわれています。さらには中学よりも1回の授業で進むスピードが速いからです。気を抜いているといつの間にか授業についていけなくなり、そのままズルズルいってしまうということがよくあるのです。実際、中学校のときは学年でトップクラスの成績だった生徒が、進学校に入ってから4月につまずき、そのまま学年で下位をキープしているという話も耳にします。ですから、皆さんは高校受験後の「魔の1カ月」を油断しないで過ごすことを覚えておいてください。これを覚えておくだけで、皆さんの高校入学後の未来が大きく変わるかもしれません。

さて、ここからは受験勉強の重要性についてお話していきます。少し話が逸れますが、皆さんは小学校の小数や分数が理解できていなくて、中学校の数学の計算でつまづいたというような経験をしたことはありますか?もっと酷い場合だと、そのせいで数学が嫌いになったというような経験はありますか?

実はこれと同じことが高校でも起こる可能性があります。これも皆さんがすっかり忘れてしまいがちな事実ですが、高校の勉強はすべて中学の知識が土台になっています。中学の勉強がおろそかだと、高校に入ってから勉強でめっちゃくちゃ苦労します。だから、皆さんが高校に入ってからちゃんと勉強できる基礎力がある

かどうかを確かめるために「高校入試」があり、その力をつけるために「受験勉強」をしなければならぬわけです。今年の夏、予備校では多数の夏期講習生が参加してくれましたが、各自の不理解箇所をさかのぼって見ていくと、中学内容でつまづいているケースが非常に多かったのが印象的でした。やはり、それだけ中学の勉強というのは重要なのです。

ここでまた少し話が逸れますが、予備校に通う高校1年生に、「受験勉強と高校の勉強では、どちらの方が大変?」と尋ねると、ほとんどの子が「高校の勉強の方がしんどい」と答えます。これは高校の勉強内容が中学内容よりも圧倒的に難しいというのが一番の理由ですが、難しいことに向き合うというのは、とても気力が要る作業です。生徒のこの「しんどい」という言葉には、単純に勉強が難しいという「しんどさ」や、予習・復習・課題に追われる「しんどさ」、そして3年間これらと日々向き合っていくかなければならない精神的な「しんどさ」という意味が込められています。特に進学校におけるこの「しんどさ」は、半端ではないと思ってください。

実はここに受験勉強が持つもう一つの重要な役割があります。それは、高校の勉強の「しんどさ」に耐えうるだけの精神力を鍛えるということです。覚えておいてほしいのですが、受験勉強の段階で「しんどい」とか「やる気が出ない」と音を立てているのであれば、残念ながらトップ校や進学校に入っても勉強についていけませんので、志望校のランクを下げた方がいいかもしれません。それだけ高校に入ってから勉強はハードですし、現に皆さんの先輩たちが苦労するのを見てきました。トップ校を目指す人は、相当の覚悟を持って臨んでほしいと思います。

以上、長くなりましたが、普段皆さんと接する機会がないため、このGrowingという場をお借りしてお話をさせてもらいました。受験勉強はこの先もまだまだ続きますし、時には投げ出しなくなることもあるかもしれませんが、そんなときはぜひこの話を思い出して出してください。皆さんの心の支えになれば、非常に嬉しく思います。応援しています!最後まで頑張ってください!

Summer Camp

TEACHER'S VOICE ちょっとイイ話

The Second Summer Camp in SHIAWASE NO MURA.

カトリーナ・藤川 (トーキングキッズ)



Day 1

One our way to the camp my TK kids Taiga, Ai, Tsubaki, Yua, and Aoi enjoyed singing English songs by repeating the words they heard from the CD. They especially enjoyed singing along to Jennifer Lopez songs and learning the lyrics like, **shake my body, hands up in the air, boomboboley, wooo oh oh oh, dance on the floor.** The kids had a great time singing and dancing in the van. When we arrived at Shiawase no Mura the kids were amazed to see how enormous and beautiful the place was. They were so excited to go out and explore right away.

We went to the restaurant directly where the delicious meal awaited. It was a buffet lunch. They loved the food that were served especially the desserts. Our kids had a good appetite and that made me happy. After the sumptuous lunch, we started to get ready for the next thing on our program.

We proceeded to the function room to start the craft. I explained the main rule of the Summer Camp and handed out the Word Expression Booklet. Then practiced some useful words and phrases. We told them to speak English as much as they could. If they did so, point cards would be rewarded, but if ever the teacher heard them speaking in Japanese, they should give back \$1 to the teacher as their fine. The point card came in denominations \$1 \$10 \$100. Those who earned the highest point would receive a special award.

The first activity was craft making, a photo frame using paper plates and wool thread decorated with colorful beads. I printed every kids picture to complete their photo frame. It was fun. All of kids showed their creative skills. They started using English words like glue, thread, beads, scissors, finish, photo frame. I was astonished with the eagerness and effort they exerted in trying to speak in English. Of course, they made a few



little mistakes, but they showed they could use English in a real practical situation.

The important thing was, they had the confidence to speak and express themselves in English. In this activity **Confidence** was applied.

After the craft we had a few minutes break for the BBQ preparation. I could see and feel how excited they were. The kids were polite in making request, the word PLEASE and THANK YOU were frequently used, like more beef please, vegetables please, rice please, shrimp please and so on.



After the BBQ the kids enjoyed making giant bubbles. They loved this activity so

much. They ran and popped the huge bubbles that were floating up in the air.

The next activity that the kids can't forget was the TEST of COURAGE. In this activity we applied the aim of **Gaining Resiliency**. Walking in the dark to search for the big pack of snacks would test how they could conquer their fear. In the dark they encountered scary images. They were divided into four groups of four. They walked in the woods hand in hand, worked together to overcome the scary monster and ghost.

After a long productive day, the kids took their rest and went to their respective rooms with smiles on their faces. They did their best and were courageous in facing the challenge.



Day 2

Kids got up at 7 am. We started our day 2 doing Zumba on the field in front of the hotel. The Zumba energized them and woke them up for the day ahead. Yua was awarded as the best Zumba dancer. Congratulations Yua! After the Zumba, the most important part of the day "breakfast" The kids ate good breakfast got themselves ready to face the second day challenges.



After breakfast we went to the park. In the park they enjoyed the long slider, jungle gym, raft, mountain fort, spider web net, and labyrinth. The kids had a great adventure. At noon lunches were served. We enjoyed eating lunch under the trees.

In the afternoon we did our board walking activity and had fun with our water balloon batting game. The Kids played table tennis in the gym and finished off the day with some



delicious ice cream which was a present from our boss Mr. Takagi, of course the

kids say Thank You in English. At the end of the day, we awarded and handed out gifts to the students with the most points. CONGRATULATIONS to the kids who excelled in this camp, and to everyone. You are all winners, because we had a great time and gained lots of special happy memories and experiences from this camp. See you next summer! English is **FUNtastic !!!**



Summer Camp

TEACHER'S VOICE ちょっとイイ話

The Second Summer Camp in SHIAWASE NO MURA.

カトリナ・藤川 (トーキングキッズ)



1日目

私の車に乗ったTK生のTaiga, Ai, Tsubaki, Yua, Aoiはキャンプに向かう道でCDから流れる英語の歌を繰り返し歌って楽しんでいました。子供達は特にジェニファー・ロペスの歌を気に入って、歌詞を覚えたり、体を揺らしながら手を挙げたりして踊っていました。子供達は車の中で歌と踊りを楽しみました。しあわせの村に到着した時に、子供達は場所の広さと美しさに驚き、早く外に出て今すぐ探検に行きたい様子でした。私達はまず、おいしい食事が待っているレストランに直接行きました。ビュッフェ式のランチでした。子供達は特にデザートがお気に入りでした。食欲旺盛な子供達を見て私は幸せでした。豪華な昼食の後、私達は次のプログラムの準備を始めました。



みんなでクラフトルームへ向かい、工作を始めました。サマーキャンプの主なルールを説明し、英会話表現の冊子を配りました。それから、いくつかのよく使う英単語やフレーズを練習しました。そしてできる限り英語で話すように言いました。英語で話せばポイントのドルカードがもらえます。しかし日本語で話しているのを先生が聞けば罰金になりドルカードを払わなければなりません。最もポイントが高い人は特別な賞がもらえます。

最初の活動は、紙皿とカラフルなビーズで飾られたフォトフレーム製作でした。全員の写真を印刷し、フォトフレームを完成させました。楽しかったです。みんな創造力を発揮させました。子供達は



“接着剤”、“糸”、“ビーズ”、“はさみ”、“仕上げ”、“フォトフレーム”、のような英単語を使い始めました。私は彼らの熱意と英語で話そうとする努力に驚きました。もちろん、小さなミスはありますが、実際に実用的な英語を使うことができました。重要なのは、生徒達が英語で話したり、自分の気持ちを表現することに自信を持つことでした。この活動では自



信を持つことが求められました。

クラフトの後、バーベキューの準備のために数分間休憩しました。私は、生徒達がどれほど興奮しているかを感じることができました。子供達は礼儀正しく「PLEASE and THANK YOU」を頻繁に使用して、お肉や野菜、ごはん、海老などをリクエストしていました。バーベキューの後、子供達は巨大なシャボン玉を作って楽しみました。みんなこのシャボン玉がとても気に入っていました。子供達は空中に浮かんでいる巨大なシャボン



玉を走ってはじけさせて楽しんでいました。特に子供達の思い出に残った次の活動は、肝試しでした。この活動では元気が求められました。スナック菓子の大きな袋を探すために暗闇の中を歩くことは、いかにして恐怖に打ち勝つことができるかを試すテストのようでした。暗闇の中怖そうな目をします。子供達と先生は4人ずつ4グループに分かれました。みんなは手をつないで森の中を歩いて、怖い怪物やおばけに打ち勝つために一緒にがんばりました。



長い充実した一日の後、子供達は笑顔でそれぞれの部屋に行き、休息を取りました。みんなよくがんばり、挑戦することに勇敢でした。

2日目

子供達は午前7時に起きました。2日目の私達はホテルの前の芝生でズンバを始めました。ズンバを踊ることで力がみなぎり目が覚めました。Yuaは1番のズンバダンサーとして表彰されました。おめでとうYua! ズンバの後は1日のうちで最も重要な“朝食”です。子供達はおいしい朝食を食



べて2日目の課題に取り組む準備をしました。朝食後、私達は公園に行き、長い滑り台、ジャングルジム、いかだ、山の砦、クモの巣のようなアスレチック、そして迷路を楽しみました。子供達はすばらしい冒険をしました。お昼にはお弁当が配られ、木の下で昼食を楽しみました。午後は、ボードウォーキングや水風船パティングを楽しみました。子供達はジムで卓球をし、塾長に買ってもらったアイスクリームで一日を締めくくりました。



もちろん子供達は英語でお礼を言いました。その日の終わりに最も多くのポイントを貯めた生徒を表彰しました。このキャンプで力を発揮した子供達、そしてみんなにおめでとう。素晴らしい時間を過ごし、このキャンプでの経験と幸せな思い出を得ることができたので、あなたたちはみんな勝者です。

また来年の夏も! 英語は素晴らしい!!!